

タックル

自民党

令和7年1月1日

発行：山田宏よい国後援会機関紙

ニュース



新年号



歯科界の「新芽」を育てる年に。

「乙巳(きのとみ)」は「新芽」の年

今年、干支では「乙巳(きのとみ)」の年。昨年の「甲辰(きのえ・たつ)」の歩みが、いよいよ地表に出る「新芽」の年です。昨年殻を被った芽(「甲」の字)が出たものの、地表は風雨など厳しい天候が予想以上で新芽もまっすぐ伸びることができずクニヤクニヤと折れ曲がっていることを表すのが「乙」。 「巳」は、冬眠から這い出した蛇とも胎児とも言われる象形文字で、未だ旧勢力の抵抗は強く産みの苦しみが続くことを表しています。そこで「乙巳」の年は、抵抗に負けず堂々と正論を貫くことが大事で、そうすれば来年の「丙午(ひのえ・うま)」の年は、「丙」の象形が示すように新芽の双葉が広がっていくこととなります。

歯科界の「新芽」

今年、歯科界にとっても、「国民皆歯科健診」の実現に向けての「モデル事業」実施という「新芽」の年です。

国は2年間にわたり「国民皆歯科健診推進事業」として、歯周病等の簡易な検査方法の開発に年間約2億円の予算を当ててきました。唾液や舌ぬぐい液を検査キットで判定する方法や「歯周病発見AI」を用いてタブレットやスマートフォンで歯茎を撮影した画像から判定する方法など開発中ですが、今年はその中のいくつかを「モデル事業」として様々な拠点で活用し効果を確認していきます。

例えば事業所での健診や特定健診、高齢者施設での検診や妊産婦検診、地域においては医療機関だけでなく郵便局や薬局など

医療費の適正化を図り国民皆保険制度を維持しようとするものですが、ポイントはこの約半数の「余程のことがない限り歯医者さんに行かない」方々にも口腔の健康状態をチェックできる機会を増やして早期発見・早期治療につなげようと考えているわけです。

本格的な国民皆歯科健診を目指して

今年から始まる「国民皆歯科健診モデル事業」は、検査キット等の効果の確認や検査結果を診療につなげる方法の検討が主な目的ですが、さらに事業を通して得られる健診・治療と全身疾患や医療費との関連性などのエビデンスもすっかり国として蓄積していくことも大事な目的の一つです。

健診と治療によって全身疾患の予防につ

でもこれらの検査キット等を使って「まちかど歯科健診」を実施し、その効果を確認し健診結果を診療につなげる方法等の検討を行います。

なぜ簡易な検査方法か

国の調査によると「年一回でも歯科診療所で診療を受けている」と答えている国民は約半数で、残りの半数の方は「余程のことがない限り歯医者さんに行かない」との結果が出ています。

「国民皆歯科健診」の目的は、全国民が年一回は歯科健診を受けていただき、歯科疾患の早期発見・早期治療により全身の疾病予防と健康寿命の延伸につなげ、急増する

入するための労働安全衛生法など諸法令の改正に向け事業者や保険者に対する説得材料となるからです。

残念ながら現状は法令改正はまだ道遠しの感があります。昨年9月の「第7回労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目に関する検討会」で日本歯科医師会の山本常務理事が歯科を盛り込むよう強く要請しましたが、11月の検討会「中間とりまとめ」では「業務起因性、就業上の措置等のエビデンスが乏しい」として「歯科健診を追加することは困難」との結論となりました。

国民皆歯科健診の実現に向けて法令の改正は必須です。その突破口を開くためにも今年からの「モデル事業」での国としてのエビデンスの蓄積が重要なのです。

「山田宏のYouTubeチャンネル」▶
(毎週土曜日配信)
月1回歯科のテーマでお話しています。



「山田宏のデンタルマガジン」▶
月2回配信中!



山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、YouTubeでご紹介しています

山田宏公式サイト: www.yamadahiroshi.com

山田宏公式Facebookページ:

<https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/>

山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo

公式サイト



Facebook



ツイッター



山田宏(やまだひろし)
プロフィール(2024.12現在)

参議院議員

自由民主党 総務会副会長

組織運動本部 本部長代理

朝日大学歯学部 客員教授

昭和33年(1958年)1月8日生まれ。

京大法学部卒業。

松下政経塾第2期生。

東京都議会議員(2期)・

衆議院議員(2期)・杉並区長(3期)

山田宏よい国後援会
歯科部会にお入り
ください!

「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いてまいります。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。



お申込みはこちらから↓



お問い合わせはこちらにお願いいたします。

山田宏 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1205号室

Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205



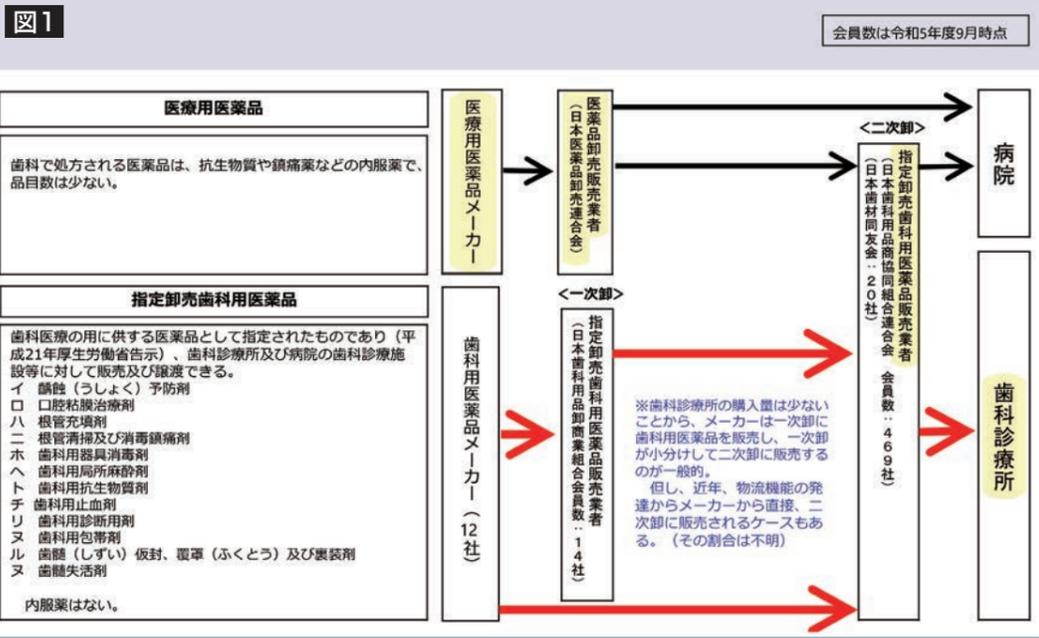
抗生剤がない!!

「鎮痛剤はだいぶ手に入るようになったが、抗生剤がない」との多くの声を歯科診療所から聞いている。「それぞれの薬剤の適応・薬効から判断して処方するのではなく、手元にある薬を出しているのが現状」と、特に院内処方診療所はかなり困っているとのこと。

厚労省もこの厳しい現状を認識しており、医薬品メーカーや医薬品卸売業者（日本医薬品卸売連合会）に対し再三歯科診療所に必要な薬を回すよう要請してきているがあまり改善が見られない。何が問題なのか。

まずメーカーの問題。そもそも今回の抗生剤不足は昨年4月22日からの長生堂製薬川内工場内での不祥事による出荷停止に端を発し、主にジェネリックの抗生剤原料が逼迫して他の抗生剤不足をもたらした。長生

歯科診療所の医薬品流通経路



昨年11月、世界で最も評価の高い医学雑誌の1つである「ランセット」に、「口腔の不健康状態と早期介護認定や死亡との関連性」という論文が掲載された。

この論文は、島根県歯科医師会などが中心となり、同

機能障害と死亡に悪影響を及ぼす事は？

機能障害（要介護2以上）	死亡
1位 しっかり噛めていない	しっかり噛めていない
2位 中等度以上の歯周病	歯の数が少ない
3位 歯の数が少ない	本人が噛めないと思っている
4位 口腔衛生状態が悪い	中等度以上の歯周病
5位 本人が噛めないと思っている	下の入れ歯が合っていない

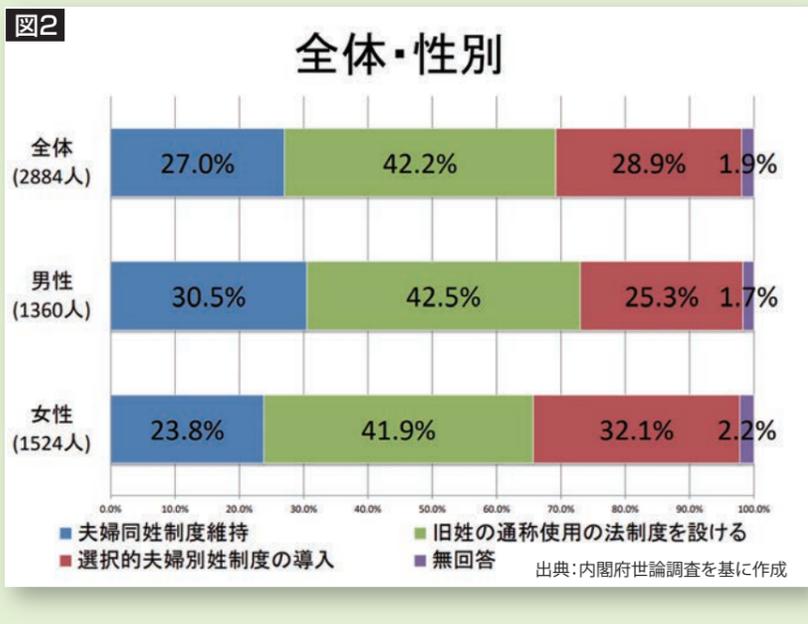
表1
島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター 安倍 孝文
島根県後期高齢者医療広域連合・島根県歯科医師会報告会2024年10月10日説明資料より一部改変

「しっかり噛めていない」と「介護や死亡につながるやすい！」と医学雑誌「ランセット」に論文

県で実施された後期高齢者歯科口腔健康診査を受診した21,881人の個人データを使用して、歯の数、咀嚼能力（噛む能力）、歯周組織の状態などの口腔の健康状態と介護認定や死亡との関連性を調査した。それによると「しっかり噛めていない」ことが介護認定や死亡の発生を回避する上で優先度の高い項目である可能性があると判明した。

その他の要因としては、中等度の歯周病があることや残っている歯の数が少ないことなどが関連している（表1）

この研究からも、自分の歯や義歯でなんでも噛める口腔状態を保つていくことが、介護になりにくく長生きするためには大事な要素であることが確認された。



「選択的夫婦別姓」とは「強制的親子別姓」
「まず旧姓の通称使用を拡大する法制度を」

昨年の総選挙で自民党が歴史的な大敗を喫し少数与党政権となったことで、野党が主張してきた「選択的夫婦別姓」制度の導入に向けた民法と戸籍法の改正がにわかに現実味を帯びてきた。

推進派は、「選択制なのだから、誰にも迷惑をかけるまい」と主張するが、夫婦が別姓を選択すればその子供の姓は必ずどちらかの親の姓と異なることとなり、子供にとっては「強制的親子別姓」となる。

令和3年度実施の法務省の「家族の法制に関する世論調査」では、選択的夫婦別姓導入の「子どもへの影響」について、「子どもにとって好ましくない影響があると思う」と答えた人は69%、「子どもに影響はないと思う」は30%で、親子別姓による子供への影響を心配する人が7割を占める。

子供への影響の具体的内容を探ると、「友人から親と名字・姓が異なることを指摘されて、嫌な思いをするなどして、対人関係で心理的負担が生じる」が78.6%、「名字・姓が異なる親との関係で違和感や不安感を覚える」が60.1%、「家族の一体感が失われて子の健全な育成が阻害される」が23.1%と回答している（複数回答）。

それでも多くのメディアは、選択的夫婦別姓には国民の約7割が賛成していると報道するが、それは各メ

